



2022年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年6月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社エニグモ

コード番号 3665

URL <https://enigmo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 最高経営責任者

(氏名) 須田 将啓

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 コーポレートオペレーション本部長

(氏名) 金田 洋一

TEL (03) 6894-3665

四半期報告書提出予定日 2021年6月14日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年1月期第1四半期の業績 (2021年2月1日～2021年4月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年1月期第1四半期	1,831	36.3	710	49.2	713	49.8	495	48.9
2021年1月期第1四半期	1,343	△2.0	476	△21.1	476	△18.5	332	△18.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年1月期第1四半期	11.89	11.88
2021年1月期第1四半期	7.99	-

(注) 前第1四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、希薄化効果を有していないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年1月期第1四半期	11,424	9,301	81.1
2021年1月期	12,737	9,220	72.1

(参考) 自己資本 2022年1月期第1四半期 9,261百万円 2021年1月期 9,180百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年1月期	-	0.00	-	10.00	10.00
2022年1月期	-	-	-	-	-
2022年1月期(予想)	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

現時点において、2022年1月期の配当予想額は未定です。今後の資金需要動向とキャッシュ・フローの状況とを勘案し、株主配当の水準を決定する予定です。

3. 2022年1月期の業績予想 (2021年2月1日～2022年1月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,139	15.0	3,063	1.0	3,060	1.0	2,117	1.0	50.85
	～ 8,846	25.0	～ 3,519	16.0	～ 3,519	16.1	～ 2,435	16.0	～ 58.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年1月期1Q	42,642,000株	2021年1月期	42,642,000株
② 期末自己株式数	2022年1月期1Q	1,000,040株	2021年1月期	1,000,040株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年1月期1Q	41,641,960株	2021年1月期1Q	41,641,960株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績等は内外の状況変化等により、本資料の数値と異なる場合があります。なお、本資料の予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

決算補足説明資料につきましては、2021年6月14日（月）に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
3. その他	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は「世界を変える、新しい流れを。」というミッションの下、インターネットを通じて、法人・個人の垣根を壊し、誰もが多様な専門性を生かすことで今まで存在しなかった新しい価値を創造する、“Specialty” Marketplace（スペシャルティマーケットプレイス）「BUYMA（バイマ）」を中心とした事業を展開しております。

当第1四半期累計期間（2021年2月1日～2021年4月30日）における世界経済は、変異株の発生による新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の全世界的感染再拡大の影響が長期化しております。各国においてはワクチン接種を積極的に進めており、事態の収束に向けた動きが見えてきているものの、未だ厳しい状況が続いております。日本経済においても、同影響による経済活動の低下を受け、企業収益においても急速な減少を余儀なくされている中、感染範囲の再拡大は進行し続けており、経済をさらに下振れさせる懸念はますます深まってきております。加えて、今後も中長期的に国内外の感染症の動向を注視する必要があるなど、世界規模で先行きの不透明さは増大し続けております。一方で、政府によるまん延防止等重点措置、緊急事態宣言発出に端を発した、各自治体による施設や店舗への営業時間短縮要請、外出自粛要請等が長引く中、各業界における新しい生活様式の構築に向けた取り組みにより、社会経済活動のレベル上げが進められてきました。その結果、人と人との接触機会を減らしつつ、商品を購入、サービスを楽しむことができるインターネットサービスを提供する事業会社が果たすべき社会的役割が大幅に増し、消費需要も急速に高まってきております。

このような環境の中、当社は基幹事業である“Specialty” Marketplace「BUYMA」において、BUYMAが提供するSpecialtyの強化に向けた取り組みを積極的に進めてまいりました。継続的な各機能向上施策に加え、ビッグデータ分析との連携によるマーケティング施策を展開し、一層安全かつ満足度の高い購入体験をBUYMAでお楽しみいただけるよう、サービスを拡充してきております。また、世界中の消費者にBUYMAサービスを提供できるよう、「英語版BUYMA」も認知度向上、販売促進施策を積極的に展開し、高成長を継続してきております。

当第1四半期累計期間におきましては、民間国際物流提携サービス拡充による取扱アイテムの安全かつスピーディな配送強化実現により、昨年度大きな影響を受けた国際配送面での新型コロナウイルス感染症拡大の影響を抑制しつつ、BUYMAの成長戦略を積極的に展開しております。海外セレクトショップ等法人出品者との連携による品揃えの強化と効果的なMD施策の実施、ライフスタイルカテゴリの強化、Marketing Automationツールの運用効率・体制強化、AIによるLife Time Value予測モデルの活用、LTV（ライフタイムバリュー）向上に繋がる広告宣伝及び各種セール施策との連動等のデータドリブンなマーケティング施策の推進に加え、YouTube公式チャンネルやInstagram及びTwitter等のSNS運用も強化してきております。

以上の結果、会員数は8,849,002人（前年同四半期比16.6%増）、商品総取扱高は16,128,676千円（前年同四半期比38.9%増）と順調に拡大し、当事業年度における当社の売上高は1,831,571千円（前年同四半期比36.3%増）、営業利益は710,831千円（前年同四半期比49.2%増）、経常利益は713,791千円（前年同四半期比49.8%増）、四半期純利益は495,092千円（前年同四半期比48.9%増）となりました。

なお、当社の事業セグメントはソーシャルコマース事業の単一セグメントでありますので、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産合計

当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末より1,312,333千円減少し、11,424,873千円となりました。主な内訳は、現金及び預金10,469,610千円であります。

② 負債合計

当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末より1,393,461千円減少し、2,123,167千円となりました。主な内訳は、預り金1,506,446千円であります。

③ 純資産

当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末より81,128千円増加し、9,301,706千円となりました。主な内訳は、利益剰余金8,900,389千円であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の我が国経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により、先行き不透明な状況が続いております。新型コロナウイルス感染症は世界規模での急速な拡大により世界各国で緊急的かつ長期的な対応に追われており、我が国経済のみならず世界経済への長期的な影響が懸念されております。このような経済環境の中、当社は、当社の基幹事業である“Specialty” Marketplace「BUYMA」において、アプリ訴求施策、アプリ機能強化、パーソナルショッパー（出品者）連携施策に加え、ビッグデータ分析との連携によるマーケティング施策強化等各種施策を展開し、取扱高の継続的な拡大を進め、2022年1月期第1四半期における足元の状況は概ね順調に推移しており、2022年1月期業績予想につきましては、2021年3月17日の「2021年1月期 決算短信」で公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年1月31日)	当第1四半期会計期間 (2021年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,807,725	10,469,610
売掛金	331,943	254,441
商品	5,071	6,864
貯蔵品	5,061	4,941
前渡金	61,089	83,887
前払費用	42,347	47,010
未収入金	84,629	156,234
その他	1,281	4,837
流動資産合計	12,339,150	11,027,828
固定資産		
有形固定資産		
建物	43,382	59,992
工具、器具及び備品	25,363	22,996
有形固定資産合計	68,746	82,988
無形固定資産		
ソフトウェア	10,652	9,848
その他	18	18
無形固定資産合計	10,671	9,867
投資その他の資産		
投資有価証券	193,341	193,341
関係会社株式	104	104
敷金及び保証金	63,820	63,820
長期前払費用	5,351	8,836
繰延税金資産	56,020	38,086
投資その他の資産合計	318,638	304,189
固定資産合計	398,056	397,044
資産合計	12,737,206	11,424,873
負債の部		
流動負債		
未払金	362,214	227,484
未払費用	8,094	1,374
未払法人税等	666,181	210,797
未払消費税等	149,736	82,898
預り金	2,273,483	1,506,446
資産除去債務	13,800	13,800
ポイント引当金	33,300	35,734
賞与引当金	—	27,756
その他	2,665	9,703
流動負債合計	3,509,476	2,115,995
固定負債		
資産除去債務	7,152	7,171
固定負債合計	7,152	7,171
負債合計	3,516,629	2,123,167

(単位:千円)

	前事業年度 (2021年1月31日)	当第1四半期会計期間 (2021年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	381,903	381,903
資本剰余金		
資本準備金	321,103	321,103
その他資本剰余金	70,371	70,371
資本剰余金合計	391,474	391,474
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	8,821,715	8,900,389
利益剰余金合計	8,821,715	8,900,389
自己株式	△415,429	△415,429
株主資本合計	9,179,664	9,258,337
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△160	△160
繰延ヘッジ損益	554	3,009
評価・換算差額等合計	394	2,849
新株予約権	40,519	40,519
純資産合計	9,220,577	9,301,706
負債純資産合計	12,737,206	11,424,873

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年4月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年4月30日)
売上高	1,343,346	1,831,571
売上原価	246,806	353,976
売上総利益	1,096,539	1,477,595
販売費及び一般管理費	620,006	766,763
営業利益	476,533	710,831
営業外収益		
受取利息	59	50
為替差益	—	2,297
助成金収入	—	1,000
その他	1	342
営業外収益合計	60	3,691
営業外費用		
為替差損	108	—
雑損失	—	731
営業外費用合計	108	731
経常利益	476,486	713,791
特別利益		
投資有価証券売却益	3,077	—
特別利益合計	3,077	—
特別損失		
固定資産売却損	—	55
固定資産除却損	—	2,937
特別損失合計	—	2,993
税引前四半期純利益	479,563	710,798
法人税、住民税及び事業税	132,672	198,854
法人税等調整額	14,353	16,850
法人税等合計	147,025	215,705
四半期純利益	332,537	495,092

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第1四半期累計期間(自 2020年2月1日 至 2020年4月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年4月24日 定時株主総会	普通株式	291,493	7	2020年1月31日	2020年4月27日	利益剰余金

2. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自 2021年2月1日 至 2021年4月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2021年4月28日 定時株主総会	普通株式	416,419	10	2021年1月31日	2021年4月30日	利益剰余金

2. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、ソーシャルコマース事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響に関して、同感染症の今後の広がり方や収束時期等を正確に予測することは困難な状況にあります。現時点において、将来のキャッシュ・フロー及び将来の事業環境等の予測にあたって同感染症は、一定の影響を及ぼすものの、限定的であると判断しております。また、固定資産の減損や繰延税金資産の回収可能性、投資有価証券の評価等の会計上の見積りに関して、重要な影響を与えるものではないと判断しております。しかしながら、今後の状況の変化によっては、将来における財務諸表に影響を与える可能性があるため、今後も注視してまいります。

なお、前事業年度の有価証券報告書に記載した会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響に関する仮定の記載について重要な変更はありません。

3. その他

2021年4月28日開催の定時株主総会において、配当に関する決議を行っております。

なお、配当の内容につきましては、「(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)」に記載の通りであります。